

同和教育・アニメーション映画

カラー・30分

16ミリ・¥210,000

VHS・¥30,000



# 虹のかけ橋

企画 埼玉県教育委員会  
製作 (株) 教配

## 製作意図

人はみんな、生まれながらに平等なはずなのに、いまだいろいろな差別に苦しむ多くの人たちがいるのも事実です。特に同和問題といういわれのない差別は、人々の無理解から生まれます。

この映画は、差別のない社会の実現のために若い世代の人々が同和問題に対する正しい理解を深めるのに役立つことを願って製作しました。

## 作品内容

○ 聡は緑ヶ丘中学校に転校して、まだ3ヶ月しか経たないのにサッカー部での活躍で、もうクラスの人気者である。聡には障害をもつ康夫という仲の良いクラスメートがいる。

同級の香織は大会社の社長の一人娘で、勉強はもちろん何をやらせてもクラスで一番のスーパースターである。聡が来てから、香織も香織の友達由美も彼を意識しているが、負けず嫌いの香織は頭の良い聡には絶対に負けたくないと思っている。

○ 学級活動の時間で、近く行われる校外活動について、香織が議長になりみんなの提案と意見をまとめている。香織のウォーターフロントの水族館、遊園地見学、ミュージカル鑑賞などの提案に、女子生徒達はみんな賛成したが、聡は費用がかかりすぎるとこの案に反対し、中津峡に自然観察に行くことを提案した。康夫も聡に賛成したが、由美たちは反対だった。結局これらの案は学年会で決めることになったが、聡の提案を面白く思わない由美たちはヒソヒソと聡の噂をするのだった。「あの子はぶらくなの…」「ぶらくなってなぁに?」たまたまこの言葉を聞いた聡は由美たちに、いかりの目をむけるのだった。

○ 校外活動は中津峡の自然観察に決まった。しかし、由美達の噂からクラス中の聡を見る目が変わってしまった。サッカー部員たちまでが、聡にさそわれても、なにかと理由をつけて彼から去っていった。一人残された聡が見上げる夕焼け空には聡のうわさを耳打ちするクラスメートたちの顔が浮かんで見えるのだった。そんなイメージを振りきるように走って帰る聡の前に車椅子を必死に動かす康夫の姿があった。手をかそうとする聡、しかし、康夫にも断わられた聡は、ぼう然として家に帰った。

○ 旧式のプレス機で父母と一緒に仕事をする聡。突然こらえていた感情を爆発させるかのように聡が叫んだ。「どうして僕なんか生んだんだ。こんな思いまでして生きててもしょうがない。」

父は自分たちが差別のない社会をつくるためにいままで努力してきたこと、そして聡も負けずに頑張っしてほしいとやさしくさとした。雷鳴のとどろく空を見上げて聡も父の言葉どおり差別のない社会の実現のために努力しようと決意するのだった。

### ○ 中津峡

崖沿いの山道に行く生徒たち。由美たちを促し聡のそばを小走りに行く香織は道をふみはずし、崖から滑り落ち激流に流されたが、みんなはただ見守るばかりでどうすることもできなかった。その時、聡は崖を駆け降り、一気に激流に飛びこみ、流されながらも香織を助けた。

○ すっかり元気になって学校に戻った香織は、聡に対するいままでの自分の態度を反省し、これを機会に部落問題を勉強しようと決心した。そして、図書館で偶然、聡と会った。聡も部落問題を調べに来ていたのだった。香織はどうして自分を助けてくれたのか聡に尋ねた。聡の「友達だし、クラスの仲間だし、あたりまえのことをしただけさ」という答えに香織は心を打たれた。

○ 部落問題について勉強したいという香織に担任の林田先生も協力を約束してくれた。香織は自分の調べたことを紙芝居にして学級活動の時間に発表することになった。それは、「差別をなくす三つのなぜ?」という紙芝居である。香織の発表の後、クラスでのみんなの真剣な話し合いによって、今までの差別に対する無理解と誤解も解け、康夫も由美も、いままでの自分の行動を聡に深くわびるのだった。

### ○ サッカー部の紅白試合

聡、正夫その他のサッカー部員たちが小雨の中で泥まみれの試合をくりひろげる。観戦する車椅子の康夫、香織、由美たちの声援をうけて、聡のシュートが鮮やかに決まった。プレーをする部員たちの顔も明るい。

いつしか雨も上がり、青空にくっきりと虹が美しい。それは差別のない明るい未来につながる、虹のかけ橋なのだろうか。

企画 埼玉県教育委員会

■製作スタッフ

製作	金指 純雄	原 画	古川 達也
脚本	櫻井 正明		鈴木 英二
演出	棚橋 一徳	美術	藤田 勉
キャラクター・デザイン	高橋 明信	撮影	ティ・ニシムラ
作画監督	清山 滋崇	音楽監督	田中 英行
		現 像	東映 化学

# 株式会社 教 配

本社・営業部	〒104 東京都中央区銀座6丁目6番7号(朝日ビル)	☎ (03)3571-9351(代)
関西支社	〒550 大阪市西区西本町1丁目13番38号(西本町新興ビル)	☎ (06)536-4693
九州支社	〒810 福岡市中央区谷1丁目1番8号(メゾンダイレイ907号)	☎ (092)752-3725
東北支社	〒960 福島市渡利字山の下の6	☎ (0245)22-5796